

令和5年度 第3回亀山市図書館協議会 会議録

日 時 令和6年3月28日(木) 午後2時から午後3時30分まで

場 所 亀山市立図書館1階 多目的室

出席委員
岡野 裕行委員
井戸本 吉紀委員
稲ヶ部 明香委員
川口 恭子委員
下重 智子委員
横山 正委員
原 美津子委員
田中 愛子委員
川辺 一弘委員
服部 しづ子委員

事務局
亀山市教育委員会
教育部長 亀山 隆
図書館 館長 井上 香代子
図書館 主幹 山川 美香
図書館 主査 佐々木 孝英
図書館 主事(司書) 天野 史菜

■開会

1.あいさつ

【事務局】 令和5年度第3回亀山市図書館協議会を開催する。
本協議会は、「亀山市立図書館条例」に基づき開催する。

(資料の確認)

【事務局】 事項書に基づき、会議終了は15時30分を目途に進めさせていただく。
ここからの進行については、亀山市立図書館条例施行規則第7条第2項の規定により、岡野会長にお願いする。

2. 協議事項

(1) 亀山市立図書館運営評価手順(案)について

【事務局】 事務局より説明

【服部委員】 目指す姿の文言について尋ねる。

運営評価体系図の実施方針①「図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます。」のめざす姿「長期にわたり、安定した良質なサービスが提供できる。」という表現は、漠然としている。アンケートの結果にも、騒がしいなど他の利用者が不快に感じるような学生の行動に対するスタッフの注意や指導等が欠けているというような記述がある。このようなことへの対応がされることで、皆が使いやすい図書館になると思う。それが評価になるので、もう少し具体化した表現になると良い。

②「図書館サービス実施計画を着実に進めます。」に記載のある「図書館ボランティアが、図書館職員とともに目的を共有するとともに」の部分について、「とともに」という言葉が重なっている。「図書館職員とともに目的を共有し、自己の活動を意欲的に展開していく」などの文言に直してはどうか。

【事務局】 長期にわたり、安定した良質なサービスが提供できるという文言は、読み手によって解釈の違いがあるということも含め、わかりにくいという事を認識させていただいた。この項目には、経営、運営、管理状況に関する評価など、予算、決算に絡むこともある。安定した良質なサービスには、一定の予算を確保する努力が必要である。良質なサービスという観点は、今回のアンケートでも図書館へ来て不快に思う人も一定数いることを十分把握した。そのような観点を含め、表現を変えようと思う。文言の重複部分は修正する。

【横山委員】 地下駐車場の車の出入りが難しいなど使い勝手が良くないという意見を周りからよく聞く。館内での雑談等、気になることは多い。安心して使えるようにしてほしい。

空き店舗にコンビニ等を入れてほしい。キッチンカーも来ていると聞いているが、建物の中で買えるようにしてほしい。

【事務局】 地下駐車場は市内で唯一のものと認識している。使い勝手が良くないという意見が一定数あることも承知している。構造上変えることは現状では難しいので、引き続き注意喚起をし、運用上でカバーできるよう考えていきたい。声が響くことに関しては、テスト期間などに学生の利用が多く、騒がしいという意見も頂戴する。適宜声掛けをしているが、旧図書館と比較すると学生の利用はかなり増加しており、学生の学びの場になっている。たくさんの方が来て賑わうことを肯定的にとらえている人も一定数いる。度を越えた場合は、適宜スタッフが声掛けするという対応を継続していく認識でいる。

商業施設については、キットテラス亀山施設棟管理組合として組織立てており、図書館側としては、たくさんの来館者で賑わっている状況をフェイスブック等で

【原委員】

周知することで、店舗とオーナーのマッチングにつながると良いと考えている。
ボランティア団体として、②「図書館サービス実施計画を着実に進めます。」や
④子どもの読書活動推進の部分の分類の方法について尋ねる。

亀山絵本と童話の会で半世紀近く活動が続けている。図書館主催の行事に関わってきた。根本的に子どもたちが読書好きになってもらいたい、子どもに絵本の楽しみをわかってもらいたいということからスタートしていて、ボランティアのスキルを上げるとかそんなことは考えていない。図書館がボランティアに頼っている度合いが大きいと感じる。人形劇などイベントのチラシを保育園や幼稚園に配るなど、行政と連携してもっと情報発信を充実してほしい。

【事務局】

新しく市公式 LINE が始まったので図書館のイベントカレンダーは掲載しており、発信方法の一つとして活用していく予定である。

【原委員】

情報発信に LINE が含まれるのであれば、評価の中にもその文があった方が分かりやすい。

【事務局】

情報発信の項目に、LINE は設けていない。LINE の利用に関して把握できるのは、登録者数であるが、全庁的な統計の数字となる。

【川辺委員】

ボランティア団体で、調べ学習講座や読書感想文講座を開催してきた経験上、教育委員会の後援申請を経て学校へのチラシ配布など、子ども向けの企画であれば、幼・保育園や学童保育所へのチラシ配布など、市側で対象者に向けて広報の仕方を工夫すると良い。SNS 等のツールも利用し、行政は地域の様々な情報と繋がっているのが充実させることが大事と思う。

今年度開催したビブリオバトルについても、内容がわかりにくいこともあるが、周知がどの程度されて、市民がどれくらい参加してみようと思ったのだろうかと感じた。いい方向につながってもらえればと思う。

【事務局】

幼・保育園の保護者に向けては、園を通じてアナログ媒体を上手く使いながら周知活動のノウハウを積み上げていきたいと考えている。

【井戸本副会長】

活動指標に関して、前回の意見が反映されていていい反面、増やし過ぎたとも感じている。

「長期にわたり安定した良質なサービスが提供できる」「図書館サービスを維持・向上できるよう予算の獲得に努める」の表記については、良く理解できる。そのまま記載しておいたほうが良い。図書費が減らされることはざらにある。

主催と共催のバランスや連携する時の仕組みづくりは、意識して考えたほうが良い。アンケートに多目的室文化情報プラザの利用規程を作してほしいとある。ないとどのように連携しているのかわからないので、規程として公表できるルールづくりがあるといい。その中で、広報の方法が見えてくると思う。図書館は行政の部署の仲介をすることで唯一無二のネットワークを持てる場所になる。

主催、共催の区分は難しいが決めたほうが良い。共催は相手が PR する、図書

館と絡む主催ものは、主催として気合いを入れたほうがいい。

アンケートについては、いい意見がとれたと思う。1階2階が会話しても良いということをわかっていない人も多いので、周知をもう少し強化し、度がこえたらスタッフによる声掛けのバランスを取っていくのがいいと思う。

アンケートの対象者は、来館者だけでは不完全で、来ていない人がなぜ来ないのかを把握するのは大変なことだが大事な事。例えば、遠足等で来館した小中学生に、今日以外に来たことあるか？等、2 つ3つ質問をすれば苦勞せずできると思う。

【事務局】

ご意見を反映させていただき整理する。

主催、共催のバランスについて、手探りでやってきた1年を振り返り整理している。図書館独自で開催したビブリオバトルや委託事業者によるおはなしステーションやぬいぐるみのお泊り会など、旧図書館では取り組めなかったものを開催できたことは、職員が頑張ったことと認識している。一方で情報発信の不足、共催事業をどのようにルール化するのが次の課題と思っている。

1、2階は会話 OK としているが、初めて来館した人は1、2階がざわざわしていることに驚かされている。音の階層分けについて、もっと周知をする必要がある。図書館へ来ない人へのアンケートについては、実施前に協議をしたが、まずは、来館者がどのように感じているのかということに絞って実施した。この結果全てが評価の基準に落とし込まれたり、項目が変わらないという事ではない。

【岡野会長】

主催、共催の他に協力とかもあるのか。

【事務局】

図書館独自、団体との共催、コラボ企画、行政連携の項目で整理している。年間200近いイベントを開催した。

【横山委員】

図書館へ来ない方へ向けて、駐車場の使い方の改善や利用時間の延長などは検討できないか。無料駐車場を使い勝手の良い場所に確保するなどできると良い。

親子ともに興味がわくイベントの開催を期待する。まちづくり協議会の会議の場での情報伝達など協力させていただく。

【事務局】

平面駐車場は無料ではあるが、場所がわかりにくいこともあり、引き続き周知に努めていきたい。まちづくり協議会においては、公民館講座を5、6か所開催した。来年度も地域へ出向く機会を検討していく。新しいサービスである電子図書館の案内など読書活動に繋がる取り組みを引き続きしていく。

【川辺委員】

アンケートに駐車場の意見は多い。地下駐車場の危険性が高い。これまで、事故がなかっただけで、実際に正面衝突物事故防止の対処が必要。当初から地下駐車場に対する問題は出ていた。

【川口委員】

全体的に書き方が固く、行政的な書き方。②「図書館サービス実施計画を着実に進めます」の部分でのめざす姿の部分の記載については、主語はボランティアでなく図書館とし、図書館職員がボランティアの方とともにとするのがよい。ホームページの閲覧数が増加するのではなく、見やすくわかりやすい、利用者

が簡単に調べることができる、いろんなサービスについてわかりやすい、などと
いった平易な言葉にしてほしい。

【事務局】 全体的にわかりやすい言葉になるよう調整する。

【岡野会長】 ②「図書館サービス実施計画を着実に進めます」の「情報発信」において、ウ
ェブページ・ホームページと文言については、統一した方がよい。

【川辺委員】 ③「蔵書計画に基づいた、図書資料の収集や保存を進めます。」に記載の
ある「地域に関するレファレンスが増える」について尋ねる。
レファレンスという言葉の周知も進んでいない現状だが、地域情報だけ
がレファレンスではない。

【事務局】 地域に関わるたくさんの種類があると認識している。目指す姿として一つの項
目なので、整理をして全体の評価として表記できるようにしたい。

【井戸本副会長】 ②「図書館サービス実施計画を着実に進めます。」の「職員研修」についての
意見であるが、市職員と委託事業者間全体での共有を図っているとわか
る文言は、残す方がよい。

【岡野会長】 これらのご意見を参考に、事務局側で整理する。修正箇所については事
務局一任でよい。
来年度は、評価体系図を用いて、図書館職員で一次評価を行い、第Ⅰ回図
書館協議会に、結果報告を提出する。一次評価に対する意見を踏まえ、委
員にて二次評価をしていただき、最終的に結果の公表を行うこととする。

(2) 令和6年度事業計画(案)について説明

【事務局】 事務局より説明

【川口委員】 共催行事には、行事名の後ろに団体名を入れるとよい。

【岡野会長】 記録を残す面でも、共催団体のほかに、行政連携も担当部署名を書いた方が
よい。

【原委員】 手作り絵本教室については、図書館主催行事のため、人形劇等の活動と切り
分けて記載してほしい。

【事務局】 今回、図書館主催の項目には、スタッフのおはなし会やビブリオバトル等の図
書館独自のイベントを取り上げた。頂戴した意見を踏まえ一覧表を今後整理し
ていく。

【川辺委員】 ウィキペディアタウン亀山について主催者や広報の方法など不明な点が多か
った。来年も開催すると聞いたがこの計画に取り上げるのか。

【事務局】 ウィキペディアタウン亀山は、大学の先生からの提案を受け、他の部署との連
携の中で開催したものである。図書館は主に場所と資料の提供を行った。
講師からの企画をどのように実現できるのか、先生の意向も含めて調整
し開催したというものである。

【川辺委員】 高校生の参加もあり、物事を調べたり、ウィキペディアに記述するなど図書
館に関する内容であると思う。連携するのも良いが図書館主導でも良い

と思う。高校生や大学生の若い人達もウェブの情報の世界に目を向け、リテラシー教育にもなる。まちづくりの観点では、市民活動の部署になるがとても魅力的な取り組みのため、図書館の利用サービス拡大という視点からも検討していく必要があると思う。

新年度の計画にある読書会は、図書館が実施するのではないのか。図書館で毎月事業者が実施するということが気になる。

【事務局】 初めて開催する読書会で、図書館主催で隔月の予定である。

3. 報告事項

(1) 図書館利用者アンケートの結果について

【事務局】 事務局より説明

【稲ヶ部委員】 資料に、ページ数や設問番号の設定をお願いする。また、クロス集計する予定はあるか。

【事務局】 来館頻度と滞在時間等をクロス集計する予定で、今後、集計したのもも示していく。

愛知工業大学の中井先生による利用動向調査で、どのエリアから来館しているか、他の図書館との関係性や館内の滞在場所等を調べた。旧図書館と比較すると、倍近く来館者の居住地エリアが拡大しているという結果が出ている。

【川辺委員】 アンケートの意見について、いくつか意見をやる。

文化情報プラザと多目的室の利用に関して公表してほしい。

予約席と自由席が分かりにくい。

本を探すときに、レシートを出力して探すが、わかりにくい。カウンターの人は把握しているようだが、利用者側はうまく探せない。なかなかカウンターへは聞きにくいので、わかりやすく使えるようにしてほしい。

多目的室の寄贈された絵が外せないのは何故か。寄贈の経緯等も分からない。イベント利用で外してほしい時には外してほしい。例えばアールブリュット展の時など、外さなかった件など、担当課も含めて整理しておいてほしい。

【岡野会長】 来館方法が自動車、自家用車が多いことについては、駅前にあっても、駅を使っている人が流れてくることはないことが分かる。

子ども連れの際に、カウンターへ行ったが、自動貸出機を案内されたというの意見について、運用上で案内をしているものか。

【事務局】 窓口対応については、初めての利用者かどうか分からないこともあり、まず初めに、便利な自動貸出機の案内を行ったことによる行き違いと認識している。

【岡野会長】 相互の認識のずれによるものであれば、もったいないので、柔軟な対応ができるとなると良い。

【稲ヶ部委員】 川辺委員の言う本を探せないというのはどういうことか。どこに問題があるのか。

【川辺委員】 レシートを見ても見つからず、棚番号の意味が分かりにくい。カウンターの職員に聞くとすぐに見つかる。棚番号の意味を聞いても探しにくい。

- 【井戸本委員】 棚番号を基準に探す人は多く、他館では、誤認を防ぐために棚番号を隠しているところもある。
ウィキペディアタウン亀山に参加し、後日、地域資料を探したが、見つからなかった。地域資料コーナーは請求記号が飛んでいたり、「L」表記があったりする。請求記号のつけ方にも探しにくさがあるように見えた。
- 【横山委員】 図書館の並べ方には、様々な考えがあると思っている。

(2) 開館1周年記念イベント報告

- 【事務局】 事務局より説明

(3) 研修参加報告

- 【事務局】 事務局より説明

- 【服部委員】 こういった研修の内容については、職員や関係者の中で内容を共有しているか。
- 【事務局】 月に一度の定例会等で共有するほか、個々に回覧もしている。

4. その他

- 【事務局】 事務局より説明。
来年度は、蔵書計画の改訂を予定している。協議会で議論をお願いしたい。
来年度の職員体制について報告。
- 【井上館長】 あいさつ
- 【事務局】 次回の協議会の開催は、令和6年5月中旬開催を予定している。
- 【川辺委員】 議会の教育長の報告で、学校の端末で電子図書を見られるようにするという話があった。現場の先生や司書からのニーズとしてあるのか。電子書籍を入れることで、紙の本の購入が減るのではないか。
- 【事務局】 電子図書館については、読み放題パッケージの導入を検討している。閲覧の回数制限を外したものを導入することで、学校の読書活動を支援するものである。電子図書と、紙の図書の購入予算は費目が異なるため、紙の本の購入予算が減ることはない。
- 【閉会】